

銀杏、毎日拾い続けてくれました

園長 小島 澄人

毎年繰り返される秋の到来、それも終わり冬支度、けど今年はなかなか紅葉の時期が遅れた様な気がします。まだ園内のモミジは・・・、紅葉していません。40年余り苦労してきたこと、それは銀杏との闘い、いやその収穫でした。年々増えてきます。昨年から一人の職員が毎日のように手伝ってくれました。今年は、夢の森幼稚園を開園する時にお世話になった方にいい方法を教わりました。遠足のバスの運転を頼んだ際に、ズーラシアで銀杏の話になり、大量の銀杏、網をかけて一ヶ所に集めるといいと、そして翌日に大きな網をトラックで運んできてくれました。早速イチヨウの木の上に網をかけ、男性の先生たちと銀杏の受け手の設定を済ませ翌朝が楽しみでした。銀杏がいっぱいでした。今年は小粒ですが大量の数、樹が銀杏の房でおおわれていました。11月末、お手伝いしている先生から、「もう終わりにします、今日から草取りです」、とにこやかに報告がありました。

銀杏、その臭いは強烈で、手で触れるといつまでも臭い続けます。それを避けるために42年前に始めたのですが、最近は大きなたるのような容器に10杯以上、畑に集め、男性軍が実を洗い落とし乾燥させ販売しています。先日、一人の若い男性が幼稚園に見学に来ました。幼稚園の先生になりたいとのことで、園内を案内しましたが、銀杏を見つけて、「これ、なんですか」、いきなり口の中にいれてしまいました。あまりに突然でしたのでとめられず、その結果、顔をしかめ吐き出してしまいました。銀杏、食べようとしたのをはじめてみましたので、彼にはいい体験だね、としか声をかけられませんでした。今朝も職員室に子どもが来て、「梅の実が落ちていますよ」、もう一人の子が「いや、ぎんなんだよ」と。

サツマイモ掘りも終わり、今度は大きな大根です。あの小さな小さな種が、大きな大根に、本当に不思議です。子どもたちは、びっくり、重い大根を二本持ち帰ります。楽しみにしてください。

いよいよ12月、発表会、クリスマス会、楽しみですね。子どもたちも目が輝いています。夢の森の、玉川中央の、柿の実の、そして保育園の子どもたちの輝く姿を夢見ています。配慮が足りず、思いやりが足りず、十分だとは思いますが、保護者の皆さんの暖かさに感謝し、今一度気を引き締め、精一杯頑張ります。